

三重県指定有形文化財（建造物）

春日神社拝殿（川東）

拝殿の保存修理事業

春日神社拝殿は、桁行16・613メートル、梁間7・290メートルの入母屋造で、屋根は銅板葺き、正面の軒には唐破風が取り付けられています。

創建時期、沿革ともに明らかではありませんが、天正9（1581）年の織田信長の伊賀攻め（天正伊賀の乱）では多くの建造物が被害にあう中、焼失を免れたと伝えられています。柱や梁などが室町期にさかのぼる特徴を有していることから、創建は15世紀中頃以前と考えられています。中世の貴重な文化財です。

これまで、建物を維持するため、修理が何度か行われてきました。江戸後期（18世紀頃）には、柱や虹梁、桁などの構造材を取り替える比較的規模の大きな修理がされたと考えられています。一方で、創建が15世紀とすると江戸後期まで約300年の期間があるため、その間には大小の修理が行われてきたと想像されます。昭和期においても、屋根



▲保存修理前の春日神社拝殿（南から）



▲現在の春日神社拝殿上部（南西から）

☎ 22・9678 FAX 22・9667

文化財課

の葺き替えや損傷箇所への補修などが数回行われたことが棟札などによって分かっています。各時代に建物の維持に必要な修理が行われた結果が今の拝殿の姿につながっています。現在実施している保存修理は、部材の劣化が進み、拝殿自体の歪みが大きくなったため平成28（2016）年度に始まりました。今回の保存修理は、江戸後期以来の大規模な修理です。拝殿の形状や部材の文化財的な価値を保存するため、修理の履歴や痕跡の調査に基づきながら、歴史的な建築物の専門家から指導・助言を受けて行っています。現在、柱や梁、屋根を支える構造（小屋組）の棟木まで組み立てが完了し、今年度は、屋根の銅板葺きや床板、漆喰壁などの修理を行い、令和4年（2022）年度の修理完了をめざしています。

明日に向かって ～差別をなくしていくために～

人権について考えるコラムです。

高齢者の人権 —島ヶ原支所住民福祉課—

子どもたちが登下校する時間帯には、見守りや声かけをしている高齢者の姿をよく目にします。見守りサポーターだけではなく、自主的に声かけをしている人も多くいるようです。

高齢者の声かけに対して元気にあいさつする子どもたちを見ていると、子どもたちが地域の中で守られていることにホッと安心すると同時に、子どもたちを見守ってくれる高齢者へ感謝する気持ちでいっぱいになります。

調べてみると、平均寿命の伸びや少子化の影響で、市の人口のおよそ3割は65歳以上で、島ヶ原地域では4割を超えていることがわかりました。

今、高齢者の豊かな知識や経験を生かした社会参加が求められており、実際に多方面で活躍している人も少なくありません。特に子どもや若者との交流は、世代間の理解を深め、地域を活性化し、文化の

継承にもなっています。

しかしその一方で、年齢を理由に社会参加の機会を奪われる、高齢者を虐待するなどの深刻な人権侵害も報告されています。身近な問題に感じられない人もいるかもしれませんが、高齢者への人権侵害は、誰もが加害者にも被害者にもなり得る問題です。誰でも年を重ねると、運動機能や判断力が低下して支援や介護が必要になることを理解し、高齢者をいたわり大切にすることを持たなければなりません。

一人暮らしの高齢者や高齢者だけの世帯が増加する中で、声かけ支援などの近隣での助け合いなど、地域全体で高齢者を支える共助の社会づくりが求められています。

年齢に関わらず相手の尊厳を大切に、いくつになっても活躍できる偏見や差別のない社会を築きたいですね。

■ご意見などは人権政策課 ☎ 22-9683 FAX 22-9684 ✉ jinken-danjo@city.iga.lg.jp へ

伊賀警察署だより



薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」

社会のルールからはずれた方法や目的で薬物を使用することを「薬物乱用」と言います。

薬物を乱用すると、心や身体にさまざまな悪影響を及ぼし、自分の意志ではやめられなくなります。薬物乱用の恐ろしさをしっかりと理解し、覚醒剤や違法ドラッグなどの使用を誘われても「絶対にやらない」とはっきりと断る勇気を持ちましょう。

◆三重県警察官等募集

三重県警察では、警察官A（大学卒業区分）、警察官B（大学卒業区分以外）、警察事務官を募集します。

【申込受付期間】 7月16日(金)～8月23日(月)

詳しくは、三重県警察採用係公式ツイッターなどをご覧ください。

【問い合わせ】 ○伊賀警察署 ☎ 21-0110
○名張警察署 ☎ 62-0110

公共交通を利用しましょう

公共交通計画紹介動画「伊賀市の未来は公共交通がつくる！」



伊賀市地域公共交通計画を皆さんに知ってもらうため紹介動画を作りました。

内容は、主人公の高校生“サキ”が、計画策定に関わった人から話を聞き、市内の公共交通の現状や未来を考える物語になっています。市公式YouTube「忍者市チャンネル」で配信中です。ぜひご覧ください。

忍者市チャンネル 公共交通

検索



【問い合わせ】
交通政策課 ☎ 22-9663 FAX 22-9694

情報交流ひろば

となりまち いが・こうか・かめやま

甲賀市

信楽高原鐵道「第一大戸川橋梁」 国の重要文化財に！

甲賀市信楽町
勅旨の大戸川に
架かる信楽高原
鐵道の第一大戸
川橋梁は、昭和
29年に竣工し
た橋長31メー
トル、単線使用



プレストレストコンクリート造単桁橋です。

この鉄道橋梁は、建設当時としては画期的な工法で作られており、世界的にも類例が少なく、建設時に行われた数々の検討は、その後のコンクリート研究の発展に大きな影響を与えたとされています。現存の旅客鉄道の鉄道橋梁としては唯一の重要文化財となります。

甲賀市にお立ち寄りの際は、ぜひご覧いただき、信楽高原鐵道を利用して「陶芸のまち信楽」へお越しください。



【問い合わせ】 歴史文化財課
☎ 0748-69-2250 FAX 0748-69-2293

亀山市

亀山市歴史博物館自由研究のひろば ～亀山の山々が生んだ世界的登山家 尾崎隆～

亀山市出身で、
エベレスト北壁から
の世界初登頂を
はじめ、世界の
8,000mを超える
14座のうち7座
の登頂に成功する
など、世界的な登



山家として知られた尾崎隆さんの業績や家族一緒の登山と、少年時代から登り続けた亀山の山々について紹介します。

【とき】 7月17日(土)～9月5日(日)

【ところ】 亀山市歴史博物館企画展示室
(亀山市若山町 7-30)

【開館時間】 午前9時～午後5時
※毎週火曜日休館（祝日の場合は翌日）

【企画展観覧料】 無料

※常設展示の観覧には別途観覧料が必要です。

【問い合わせ】 亀山市歴史博物館
☎ 0595-83-3000